

出西歴史講座⑦「出西今昔ものがたり」特別編

地名の由来から知る地域の「力」

～連載企画「ぶらりと斐川」出西編を通じて感じたこと～

講師・岡田素衣^{モトエ}氏(山陰中央新報社・記者)

平成 31 年 1 月 19 日(土)、第 7 回出西歴史講座「出西今昔ものがたり」特別編を開催しました。

今回は、出来るだけ若くしかも女性に出西の歴史を聞いてもらいたいとの思いから、山陰中央新報社若手記者の岡田素衣さんに講演をお願いしました。地区内 3 保育園職員と出西コミセン運営委員、事業委員の合同研修として実施しました。岡田さんの記事で山陰中央新報新聞に掲載中の「ぶらりと斐川」の取材やその際の秘話などを淡々と語ってもらいました。郷土史家の故池田敏雄氏執筆の「斐川の地名散歩」を元に出西の 5 社にまつわる歴史と地名の由来などを記事と関連させて説明をされました。その様子を写真でご紹介します。



司会担当の間賀部 亨さん
賽銭は 45 円がいい、「しじゅうご縁」だから



挨拶：総務部・西 郁郎部長
「お宮の行事は大切にしましょう」



講演会の全体風景



講師：山陰中央新報社記者・岡田素衣さん



「結(むすび)」の地名は「産霊(むすひ)」から



講師の岡田さんと熱心に聴講されるみなさん



感想を述べられる受講者の保育士さん



感想を話される保育園の先生



感想とお礼を述べられる保育園の先生



若い受講者と出西コミセン運営委員の
皆さん・・・生け花は山田博子さん

出西歴史講座「出西今昔ものがたり」特別編は、保育園の若い保育士さんも大勢加わって、出西の地名や故事に熱心に耳を傾けていました。きっと、何か“目にウロコ”の新発見を感じ取られたのではないのでしょうか・・・これからの保育に活かしてください。